

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	次世代型管理栄養士実践演習プログラムの構築および多職種連携専門職のキャリア形成を促す事業の展開				
研究組織	代表者	所属・職名	食品栄養科学部・教授	氏名	新井 英一
	研究分担者	所属・職名	食品栄養科学部・教授	氏名	桑野 稔子
		所属・職名	食品栄養科学部・教授	氏名	市川 陽子
		所属・職名	食品栄養科学部・助教	氏名	川上 由香
		所属・職名	聖隷浜松病院・臨床准教授	氏名	鈴村 里香
		所属・職名	藤枝市立総合病院・臨床教授	氏名	篠原 由美子
		所属・職名	静岡県立総合病院・栄養管理室長	氏名	高橋 玲子
		所属・職名	静岡県立こども病院・栄養管理室長	氏名	鈴木 恭子
		所属・職名	静岡市立静岡病院・栄養科長	氏名	山内 浩之
		所属・職名	静岡赤十字病院 栄養課 課長	氏名	菊地 しおり
	所属・職名	静岡済生会病院 栄養管理科 科長	氏名	星 智子	
発表者	所属・職名	食品栄養科学部・教授	氏名	新井 英一	

講演題目	次世代型管理栄養士実践演習プログラムの構築および多職種連携専門職のキャリア形成を促す事業の展開
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>これまで本学の管理栄養士養成における教育として、実践プログラムを大学院にて実施し、多くの優れた実践指導者（臨床栄養師）を輩出してきた。一方、管理栄養士の学部教育カリキュラムでは、限られた履修時間であるため、学部生における専門職としての自己効力感を高め、「実践スキル」を得られる実習体制は十分に整備されていない。そこで、本研究の目的として、これまで構築してきた大学院生用のプログラムを改編し、近隣の病院等にて、実践知を習得できる教育プログラムを学部学生が対象としても対応可能か、または大学院特別インターンシップの受け入れの拡充に繋げることが可能かについて、検証した。</p> <p>本演習には、急性期医療施設、介護老人保健・福祉施設分野のそれぞれの領域の実践指導者を招聘し、栄養ケア・マネジメントの活用実践例を、具体的な事例を通して学ぶ実践演習プログラムを運用した。病院での栄養管理能力や在宅医療・介護を見据えた地域包括ケアにおけるネットワークづくりとそのための交渉術やコミュニケーション能力醸成につながる講義とグループワーク、実践指導者より現場の課題を聴講し、フリーディスカッションを実施した。その後、教員より実践指導者にヒアリングを行い、別日に、現場の方と協議する場を設け、今後の展開、対応策について議論を行った。</p> <p>本プログラムを通じて実践指導者と学生と一緒に集い演習や議論をすることで、インターンシップとは異なる臨場感を体験し、気づきや考える力といった応用力の醸成に繋がったと考えられた。また、フリーディスカッションでは、現場の課題解決の糸口を見出すことや、研究のシーズに繋がった。さらに、新たな受け入れ施設の拡充に繋がる建設的な意見が挙がり、次年度以降、体制づくりを進めることとなった。</p> <p>今後、臨床、福祉分野のみならず、管理栄養士の就職先でもある、栄養教諭や行政（公務員）といった多岐の分野に拡大して実施し、専門職としてのキャリア形成の基盤へとつなげるための実践的な演習プログラムの構築が必要である。</p>